

2022年度 国際交流：全日本選抜チームによる海外遠征 実施要項

全日本大学準硬式野球連盟

広報委員会

1. 国際交流の目的

世界的レベルの急速なグローバル社会化への進展に対して、国際社会に積極的に関わっていき、野球を通じて国際的な社活動にもひるまず野球を通じて活躍できる学生に、国際交流の体験の機会を提供することにある。

この目的のための具体的な内容は、これまでの関東・関西・東海各地区での国際交流の活動を基礎にして、アジアの近隣諸国の大学生を中心にした若者との国際交流活動にある。

野球、特に準硬式野球の試合で勝負を競うこと、さらに社会人・大学生・高校生・小中学生・学校教員等、教育関係者との合同練習、さらには混合チームの試合、グラウンドの準備や整備、マナー等、野球教室等も含めて野球の指導も体験することを含める。

2. 全日本選抜チームの選出方法

(1) 選抜チームの監督・コーチ：

監督：原則、全日本選手権大会の優勝大学の監督。

コーチ：原則、準優勝大学以下のチームから1～2名選出する。

(2) 選手：海外遠征に派遣する選手は25名とする。

(2-1) 選手の選出方法

①選抜チーム監督による推薦のベストナイン9名と投手4名の計13名を全日本選手権大会の優秀選手から選出する。

②その他の12名は、監督推薦された12名の所属地区を除いた地区連盟から2名を推薦する。

広報委員会・国際交流部会が該当地区からの推薦選手について守備位置等を勘案し選出する。

③各地区連盟からの推薦：国際交流に積極的な関わっていく人材や、教員や指導者となることを希望していて、野球技術・知識のレベルの向上に対して意欲的な学生の推薦をもとに選手を選出する。

(3) 役員・学生スタッフ

①役員：団長1、監督1、コーチ1～2、総務（副総務）1～2、（現地）ネイティブ通訳1、計5～7名とする。

②学生スタッフ：全日本学生委員会委員を中心に主務、副主務、スコアラーの3名を選出し、他に学生の通訳兼MG2名（豪州の大学生や全日本連盟登録以外も含む）の計5名を広報委員会・国際交流部会が選出する。

(4) 選抜チームの団長、総務（副総務）については、国際交流委員会、全日本連盟役員・理事、全日本連盟職員及び主管地区連盟から選出する。

3. 遠征の実施計画について

- (1) 主催：全日本大学準硬式野球連盟（当面は、広報委員会の国際交流部会が実務を行う）。
- (2) 具体的候補予定：今年度の国際交流は、関東地区大学準硬式連盟が交流のあるオーストラリア野球リーグの招聘により、アデレードジャイアンツ（プロチーム）との試合や現地でのリーグ戦。また、アデレード市内の小中学校での野球教室開催を通じて、野球・文化交流を進める。
- (3) 実施予定期間と日程：2022年11月22日（火）～29日（火）[7泊8日（機中2泊）]
（別紙日程表 参照）
- (4) 経費：2022年度は、全日本連盟の国際交流積立金360万円を原資とする。
選手の個人負担（20万～25万円。但し、円安・諸物価の高騰により変更もある）とする。
この中には、選手の航空運賃、宿泊代金、懇親会費、保険、ユニフォーム一式（一部）、クリーニング代、その他諸経費等を含む。
- (5) 全日本のチームの集合・結団から解団までの経緯
・行程：空路は、国内の空港から羽田空港集合の後、「結団式」を行い出国・出発する。
帰路は、羽田空港到着後「解団式」を行い、その後各自帰宅する。
- (6) その他
・総務（副総務）は、早急に決定して準備を開始し、団長・監督・コーチ・選手・学生スタッフ等については、全日本選手権大会終了直後から随時決定していく予定。

以上